旭川龍谷高等学校 授業シラバス

教科名	科目名	単位数	学年	必/選	コース/フィールド
芸術	書道 I	2	1	選	全コース
科目の目標	<p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>				
教科書	書 I (東京書籍)		副教材等		

1. 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
「書写」「書道」の差異	1	4	書写と書道の違いを理解する	○		
書体の変遷	1	4	5体の違いを理解する	○		
楷書を臨書する(九成宮醜泉銘・孔子廟堂碑・雁塔聖教序など)	8	4.5	基本点画の確認と書風の違いを理解する	○	○	○
様々な行書を臨書する(蘭亭序・争坐位文稿・風信帖など)	8	5.6	基本的な行書の書法とリズムを学ぶ	○	○	○
様々な篆・隸・草書を臨書する(泰山刻石・曹全碑・真草千字文など)	8	6.7	基本的な篆隸草書の書法とリズムを学ぶ	○	○	○
様々な仮名を臨書する(蓬萊切など)	8	8.9	基本点画の確認と書風の違いを理解する	○	○	○

学習内容	時数	月	学習のねらい	評価の観点		
				X	Y	Z
仮名を利用した創作をする	2	9	筆法と書風を意識する	○	○	○
楷書を利用した創作をする	2	9	楷書筆法と書風の違いを意識した創作をする	○	○	○
行書を利用した創作をする	2	9	行書筆法と書風の違いを意識した創作をする	○	○	○
隷書を利用した創作をする	2	10	隷書筆法と書風の違いを意識した創作をする	○	○	○
感動や思いを表現した創作をする	8	10. 11	自分の感性を意識し取り込んだ創作をする	○	○	○
日常生活に関わる書を学ぶ	8	12. 1	葉書・手紙・扇面などの創作を通し、常日頃から関わるものに書を取り組む意識を育む	○	○	○
印を創る	8	1.2	筆とはことなる道具での作品を作る	○	○	○
近代詩文書や日常の書の作品を鑑賞する	4	3	書の名筆や一年間自らが創った作品を鑑賞し、書美を理解する		○	○